

## オーストラリアドルとハイブリッド通貨

オーストラリアドル（オージー）が強い。年初と比べると対ドルで30%ほど上昇している。直近では0.7560近辺でほぼ2年ぶりの高値水準だ。

こうしたオージーの強さを反映してオーストラリア国債の3か月物は先週初めてマイナス金利を付けた。オーストラリア中銀（RBA）は年初に政策金利を0.1%下げたが、マイナス金利の導入には否定的だ。つまり政策金利の一段の下げを見込んで短期国債の購入が増えたというよりも、オージーの上昇を見込んだ短期債の購入によるマイナス金利の実現だ。とりあえず比較的流動性の高くすぐに売買できる債券にオージー資金を置いたのだ。

こうした動きで想起するのはスイスフランだ。現在のマイナス金利を導入しているスイスフランではなく、ひと昔前のスイスフランだ。為替市場でのスイスフランの需要が強く、短期金利がしばらくの間マイナスになった。スイスフランが安全通貨・避難通貨として注目され始めた頃の話だ。

ところでオージーの特徴と言え、資源国通貨、高金利通貨、中国関連通貨などが挙げられてきた。主要な輸出品であるコモディティ価格の動向がオージーの変動に影響した。それは今も変わらない。最近鉄鋼石の価格が7年ぶりの高値を付けた。特に中国の経済回復が資源価格を支えている。

日本の投資家などを惹きつけた高金利のオージーは、今はない。先進国を覆う金融緩和の波にオージーも浮かんでいる。

中国との関係は深まっている。オーストラリアにとって中国は最大の貿易相手国だ。昨年は2千億ドル弱の貿易額だ。中国経済が好調の時はオージーも堅調な動きをする。中国の直近の経済指標を見ると、鋳工業生産も小売売上高も今年最大の上昇率だ。失業率もコロナ前の水準に戻りつつある。その点ではオージーには追い風だ。

ただ気になるのは中国との外交関係がこの2年ほど悪化していることだ。中国はオーストラリアに対する経済制裁としてオーストラリアからの輸入を制限し始めた。大麦やワインなどだ。火力石炭も対象で対中輸出は半分以上減った。今後中国が制裁品目を増やしたり、金額を増加するようならばオージーにも影響は避

けられない。オーストラリアにとっては中国に代わる市場を確保することが重要になる。

いずれにせよオージーの堅調さはドル安トレンドに加え、資源国通貨と中国関連の要因から生まれている。だがそれだけでは年初来の強さは説明できない気がする。もう一つの要因がある。スイスフランと同じような安全通貨・避難通貨としての需要があるのではないか。一般的にオージーはリスクオンで買われ、リスクオフの時には売られる通貨だ。その点ではリスクオフの時に買われる安全通貨ではない。

だがコロナウイルスと BREXIT の中、でそうした新たな役割を帯び始めているのではないか。ハイブリッド通貨だ。となれば現在の堅調さはすぐに終わるとは思えない。